

木田昇のこ

臥龍梅 (大分市 吉野梅園)

振り返る2022年

1月

▶ 新型コロナウイルス感染が再拡大 (写真: 南太平洋寺 杵築社の竹灯籠)

初詣で「今年こそコロナの終息を」と願うものの、1月中旬からオミクロン株の急拡大による第6波を迎えることとなる。

▶ 「アジアの安定と日米同盟」

講師: ロバート・D・エルドリッチ氏、「宇宙港がもたらす大分の未来」講師: ANA ホールディングス 鬼塚慎一郎氏ほか



2月

▶ おおいたそらはく (別府ビーコンプラザ)

宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS) 大分県別府大会の開幕イベントとして開催。大分空港がスペースポート (宇宙港) としてスタートすることを実感。



▶ 「新型コロナウイルス感染症の今後を考える」

講師: 昭和大学医学部客員教授 二木芳人氏、「調査活動からみた大分」講師: 日本政策投資銀行 大分事務所 佐野真紀子氏ほか

3月

▶ 県議会手話講座

大分県手話言語条例の制定から1年が経過。手話への理解と普及をさらに広げていきたい。(練習を重ね、手話で自己紹介できるようになりました)



4月

▶ 「るるパーク」として開園

大分県農業文化公園の愛称を公募し、憩え「る」、遊べ「る」...から、「るるパーク」に決まる。四季折々の花々が楽しめる人気のスポットに。(写真はネモフィラ畑)



▶ 「デジタル変革で加速」

講師: 大分県知事 広瀬勝貞氏、「岸田政権の経済政策を読み解く」講師: (株)大和総研 経済調査部 神田慶司氏ほか

5月

▶ 東アジア文化都市2022 大分県開幕式典 (別府市)

2022年の東アジア文化都市に大分県が選定。中国の温州市・済南市、韓国の慶州市とともに、年間を通じて文化事業や文化交流を行い、相互理解と連帯感の形成を促進。



▶ 「新型コロナウイルス対策の現状と今後の見通し」

講師: NPO 法人 医療ガバナンス研究所理事長 上昌弘氏、けんしん大学「ビジネス素養としての宇宙」講師: 日本文理大学工学部 教授 中川稔彦氏ほか

困難を乗り越え 成長し飛躍する年



新しい年の幕が開けました。旧年中に賜りました皆様からの心温まる御支援に心から感謝と御礼を申し上げます。さて、世界は今まさにVUCA(ブーカ)時代にあると言われます。VUCA (Volatility: 変動性、Uncertainty: 不確実性、Complexity: 複雑性、Ambiguity: 曖昧性)とは、九〇年代の冷戦終結から米国の軍事部門で発生した言葉のようです。近年VUCAは、テクノロジーの進化や社会・気候などあらゆる環境が複雑さを増し、先行きが不透明で将来予測が困

難な状態をさす用語として、ビジネス部門でも良く使われています。世界を震撼させたコロナパンデミックに加え、ウクライナ危機や資源・物価高騰など予測できない事態が次から次へと出現し、誰もがVUCAを実感しているのではないのでしょうか。識者によるとVUCAの時代はこの先も続くと言われていますが、予測困難にあるとは言え、地方創生の前進や高齢社会への対応など様々な課題が山積するなか、立ち止まっていく訳にはいきません。今年の干支は「癸卯」。これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年と言われます。この春に新たな大分県政が動き始める節目の年を迎え、希望と活力に満ちあふれる大分となるよう全力で頑張らねばと心新たに決意しております。結びに、新年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

二〇二三年 元旦



2023年「ツール・ド・九州」を初開催

■ 記念すべき第1回大会の会場に大分県も加わる

本年10月6日～9日の4日間にかけて、福岡県・熊本県・大分県を舞台に「ツール・ド・九州」の第1回大会が開催されます。

本大会は国際自転車競技連合 (UCI) の公認を得ており、国内外のトップ選手が参加する国際サイクリスレースです。(九州のいずれかの県を会場として今後も毎年開催する予定)

大会の開催を通じ、大分や九州でのサイクリススポーツ人口の底上げや観光・宿泊等の経済効果に加え、今後のスポーツツーリズムの推進も大いに期待されます。



0 STAGE	1 STAGE	2 STAGE	3 STAGE
小倉城クリテリウム KOKURA CASTLE CRITERIUM	福岡 FUKUOKA	熊本 KUMAMOTO	大分 OITA
2023年10月6日(金) 13:00 - 小倉 約45km	2023年10月7日(土) 8:00 - 北九州-大牟田 約145km	2023年10月8日(日) 9:00 - 南小国-南阿蘇 約120km	2023年10月9日(月) 9:30 - 日田-日田 約135km

大分ステージは、日田市のオートポリスを出発後、標高差700mを下り降り、日田市中心部の周回コースでの高速スプリントが見どころです。地元チーム「スパークルおおいた」の活躍に期待します。



ここ九州の地から サイクルロードレースの歴史が始まる。

原油・物価高騰の影響 災害対策等へ補正予算

昨年末の議会では、国の経済対策及び円安やウクライナ情勢などの世界経済の変動による原油・物価高騰の県経済への影響を踏まえ、経済活動の活性化、省エネ設備導入の支援や災害に強い強靱な県土づくり等を進める補正予算を議決いたしました。

<補正後の一般会計予算>

補正額の合計： 40,021,072千円
既決予算額： 734,696,038千円
累計予算総額： 774,717,110千円

(歳入財源の内訳)

○地方交付税： 8,923,348千円
○国庫支出金： 20,324,947千円
○県債： 8,430,000千円
○その他： 2,342,777千円

【事業概要】 *【】内の額は補正後の累計額

1. 伴走型出産・子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、妊娠や出産を届け出た妊婦等に対し応援金の給付等を行う。

- ・給付額：10万円(国2/3、県1/6、市町村1/6)
 - ・*妊娠届出時に5万円、出生届出時に5万円
 - ・給付対象：令和4年4月以降に届け出た妊婦や子育て世帯
- 【750,000千円】

2. 送迎用バス安全確保推進関連事業

バス送迎時における児童や生徒の安全を確保するため、保育所等が行うバスの安全装置整備に対し助成する。また、特別支援学校のバスに安全装置を整備する。



- ・保育所等(203台) 39,450千円
 - ・特別支援学校(20台) 4,000千円
- 【43,450千円】

3. 地域再生可能エネルギー導入推進事業

地域への再生可能エネルギーの導入を推進するため、太陽光発電等を導入する一般家庭や民間事業者に対し助成を行う。

- ・太陽光発電：一般家庭 7万円/kW
民間事業者 5万円/kW
 - ・蓄電池：1/3(限度額5.16万円/kW)
- 【171,600千円】

4. 国土強靱化5か年加速化対策関連 公共事業(土木・農林水産関係)

災害に強い強靱な県土づくりを加速させるため、緊急輸送道路の整備や河道の掘削、ため池の耐震化や農業水利施設の長寿命化等に集中的に取り組む。【27,455,351千円】

5. エネルギー関連産業成長促進事業

原油・物価高騰の影響を受けにくい強靱な脱炭素社会実現のため、事業者のエコエネルギーへの転換を支援する。

- ・太陽光発電と蓄電池を組み合わせた自家消費型エネルギー設備等の導入支援
- 補助率：3/4

限度額：1,000万円(下限100万円)
対象事業者：社会福祉法人、医療法人等
【1,129,052千円】

6. 地域消費喚起プレミアム商品券支援事業

県内消費の下支えによる地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発行する商工会・商工会議所等に対し支援する。

- ・プレミアム率：30%(県20%、市町村10%)
 - ・発行規模：130億円程度
- 【3,614,000千円】



7. 観光誘客緊急対策事業

コロナ禍の影響を受けた観光関連産業を支援するため「全国旅行支援」の割引原資の増額を行う。

【6,140,144千円】

8. 国内観光需要回復促進事業

「全国旅行支援」終了後も引き続きコロナ禍からの観光関連産業の回復を図るため、宿泊客を対象とした割引支援を実施する。

- (計算例)
宿泊代金の20%相当(最大5千円)+2千円/人・泊
・限度額：7千円/人・泊
- 【1,460,953千円】



9. インバウンド推進事業

水際対策緩和や円安で回復基調にあるインバウンド観光を更に県内に取り込むため、各国・地域の状況に応じた誘客対策を実施する。

【301,577千円】

6月

- ▶「ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障」講師：東京大学先端科学技術研究センター 小泉 悠氏

ウクライナ情勢のテレビ解説者としてお馴染み。ソ連崩壊以降、日本では貴重な存在となったロシア研究家の一人。因みに奥様はロシア人とのことでした。

- ▷「ウクライナ戦争と平和の条件」講師：神奈川大学法学部 特別招聘教授 下斗米伸夫氏、「事例から学ぶDX」講師：富士通(株) 武田幸治氏ほか



7月

- ▶豊肥・地域高規格道路建設促進期成会(竹田市)

大分市と熊本市をつなぐ中九州横断道路(全長約120km)の早期完成をめざす。今年度は竹田ICと波野IC間に着工。犬飼ICから大分市へのルート決定が急がれる。

- ▷「異能が輝く社会を創る」講師：(株)デジタルハーツプラス 畑田康二郎氏、「参院選挙後の岸田政権の展望と課題」講師：政治解説者 篠原文也氏、豊府校区防災士協議会避難所調査(豊府小学校)ほか



8月

- ▶夏休み子ども議会見学

今年度は県内中学生を対象に実施。県議会の仕

組みを勉強し、議場の見学、議員との名刺交換などを体験。議場では、子ども達が議員になって私たち議員へ質問。

- ▷全国乾しいたけ振興大会 in オーガニックシティさいぎ(佐伯市)、平和祈念の集い、新年度予算編成に関する県知事要請、東九州自動車道建設促進地方大会、全国政策研究集会(静岡市)、地域課題別研究会 in 大分市・津久見市ほか



9月

- ▷「人口減少・超高齢化社会における社会保障の在り方」講師：大分県副知事 吉田一生氏、安倍晋三元首相の「国葬」にあたっての知事・教育長に対する会派要請、けんしん大学「宇宙で動き出した大分県」講師：(株)minsora代表取締役 高山久信氏、「いちご一会とちぎ国体」大分県代表団結団壮行式ほか

- ▶第75回県民スポーツ大会・射撃競技(由布市)

2022年度から大分県ライフル射撃協会の会長に就任。初仕事は、大会の開会挨拶と表彰式。(写真はビームピストルの試技。もちろん弾は飛び出しません)



10月

- ▷OITA サイクルフェス、ホーバークラフト旅客ターミナル起工式、石棺様まつり、青年会議所全国大会ほか

- ▶宗麟公まつり・大友氏遺跡フェスタ

地元紙の連載小説「闇-GIN-」を執筆の赤神諒氏を招いてのトークショーを開催。舞台となる福岡県から立花闇千代(左)と宗茂(右)のキャンペーン隊も来場。



11月

- ▷豊府校区防災士協議会研修会、大友氏顕彰フォーラム in 大分、こうごき校区福祉健康フェスタ、東アジア文化都市2022大分県閉幕式典、けんしん大学「生活習慣病に対する理解と予防」講師：大分県栄養士会 中村佳子氏ほか

- ▶第45回全国育樹祭

第1回目の育樹祭は45年前に別府市で開催され、大分県は記念の地。秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席のもと、緑の少年団など未来を担う子どもたちも全国から参加。



12月

- ▷第4回定例県議会閉会、大分トリニータを支援する議員連盟総会ほか

- ▶大分県飲酒運転根絶フェア

「飲酒・酒気帯び」運転は何であろうと厳禁です。「コロナ禍」で飲食の機会は減っているようですが、飲み会の翌朝の運転前には念には念を入れてアルコールチェックの徹底を。



竹の子記
少し前までは、費用対効果を表す「コストパフォーマンス」をトクパフォーマンスを略して「コスパ」が流行していた。最近新たに「タイパ」なる用語が登場して「タイパ」を略した言葉で、ある事に費やした時間に対する満足度を表します。「タイパ」を上げようと、動画や音声データを増速して視聴することもあるようです。しかし、映画のワンシーンや会話で大切な役割をもつ「間」が省かれることは少し残念に感じます。▼そうは言っても「時は金なり」です。▼「タイパ」も意味は当てはまっています。しかし現実には、昨今の物価高騰にあたっては、金や年金など日々の収入が、やっばり「コスパ」が大切です。▼日本の最低賃金の平均は961円。ちなみに大分県は854円で東京の1072円に対し218円の差があります。一方、世界の最低賃金をドルベースで比較すると、オーストラリアは20年時のドル対比で13ドル、フランスとドイツは12ドル、韓国は8.9ドル、2ドルを下回っています。この地域平均の縮小が最賃改定が、まだ道半ば。今年こそ課題を敢て取りたい。



公式LINEはコチラ
木田昇の議会・政務活動を随時更新中。

ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！
*QRコードからお友達登録をよろしくお願いします。

県民クラブHPはコチラ
https://kenmin-club.com/